

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度第4回ふじみ野市社会教育委員会議			
開催日時	令和8年1月21日（水） 開会時刻 午後2時00分 閉会時刻 午後3時50分			
開催場所	ふじみ野市役所 第4庁舎 2階 D201会議室			
出席した者の 氏名 （委員15人 中9人出席）	役職名	氏名	役職名	氏名
	議長	齊藤 宏	上福岡歴史民俗資料館（館長）	井上 樹朗
	委員	山口 ゆかり	上福岡歴史民俗資料館（学芸係長）	田中 桃子
	委員	千葉 信	事務局（課長）	木村 裕之
	委員	石川 健一	事務局（副課長 兼文化財保護係主査）	鍋島 直久
	委員	宮下 宏樹	事務局（副主幹 兼地域学び係主査）	松原 秀洋
	委員	渡邊 裕介	事務局（社会教育係長）	笠掛 裕子
	委員	長谷川 節子	事務局（地域学び係長）	松島 弘泰
	委員	岩館 豊	事務局（社会教育係主任）	近藤 彩香
	委員	小澤 真樹		
会議の議題	1 審議事項 （1）社会教育委員会常設専門委員会からの報告について （2）ふじみ野市立博物館について （3）その他 2 その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	4人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	教育部 社会教育課			
議事の確定	確定年月日	令和8年2月4日		
	記名押印	役職名 議長 齊藤 宏 ㊟		

別紙

発言者	発言の要旨
事務局 (鍋島副課長)	開会の挨拶 ・出席者9名、欠席者5名で会議成立の報告 ・傍聴者4名の報告
齊藤議長	1 開会 開会にあたって挨拶
事務局 (笠掛係長)	配付資料の確認
齊藤議長	2 議事 (1) 社会教育委員会議常設専門委員会からの報告について
石川委員	資料1「令和7年度 ふじみ野市社会教育委員会議常設専門委員会実施報告」に基づき以下について説明。 ・上福岡西公民館閉館に伴う事業のあり方について ・令和8年度に実施する公民館事業について ・利用者懇談会について ・新規事業について ・公民館事業及び自主的な社会教育団体活動の見学等について
齊藤議長	議事進行 質疑応答
岩館委員	・利用者懇談会に代わる組織が提案されたことについては、令和6年度答申にも含まれる意見として重要であり、賛成。実質的に機能をもたせ、地域の学びが自分たちの学びとして理解・参画される制度設計が求められる。機能性を担保する仕組みに関して事務局の案があるか伺いたい。 ・事業の見直しについては課題の分類で整理されている。文化施設もできて、重複事業を整理していくのは当然ある。しかし現状あるものの仕分けが重要なのではなく、今ある個別の要求課題の中にどんな生活課題・地域課題が抽出されるのか、それがどう仕分けされるのかが重要。そういった制度設計についての事務局の考えを伺いたい。
事務局 (木村課長)	・いわゆる利用懇と言われる組織については継続課題とさせていただいているが、これまで利用懇が担っていたことが現在の文化施設にはないということで不安に感じている利用者がいる。そういった不安を解消することが趣旨であり、その方法については今後専門委員会に案を出させていただき審議していただきたいと考えている。また利用懇は館ごとに設置されていたのがこれまでの形である。教育委員会だけで進めるのではなく、文化施設を所管している文化・スポーツ振興課や文化施設の指定管理者とも連携して進めていきたいと考えている。

発言者	発言の要旨
	<p>・事業の見直しについて、今回の資料についてはまずは現行の事業についての整理が主旨である。事業や内容によって課題は異なるため、今後一つ一つ見直し、具体的にデザインしていくため、専門委員会の皆様のご意見を伺っていききたい。今年度の常設専門委員会では設置規則第2条第1項第2号の内容を中心に審議していただいた。今後は第1号にある「創意工夫等の提案」にお力を貸していただきたい。</p>
岩館委員	<p>今までの利用懇に関わっていた人はもちろんだが、新しい利用者にもすそ野を広げていかなければならないし、その場で話し合われたことが社会教育事業に反映されていかなければ続いていかない。そういった制度設計を一緒に議論していききたい。</p>
山口委員	<p>・自分の身近な人でも、文化施設を訪れたことがない人、利用方法が分からない人がいて、他にもそういう人が大勢いるのだと思う。自分の周りからでも知ってもらえるよう働きかけることに意味があるのではないかと感じた。</p> <p>・これからの社会教育がやっっていかなければならないこと、市民のニーズはどこにあるのだろうと考えた時に、市役所の様々な部署がそれぞれの専門的な窓口で色々な課題や要望を聞いているのではないかと思った。そういった他の課と課題の共有はあるのか。</p>
事務局 (木村課長)	<p>関連する部署同士が情報共有することはあるが、正式な会議体は無い。ある目的に応じた会議体を設置している場合もある。今後地域課題へのアプローチ方法を検討していききたい。</p>
岩館委員	<p>横のつながりが無いのは地域活動にも同じく言えることであると感じている。それぞれの地域活動の中にあるニーズや資源等がシェアされないのも課題としてある。行政として掴んだニーズをシェア・活用していく必要がある。</p>
齊藤議長	<p>ここまで説明があった第3回までの専門委員会での報告内容については、承認ということで良いか。</p>
各委員	<p>異議無し</p>
齊藤議長	<p>議事進行 議事(2) ふじみ野市立博物館について</p>
資料館 (井上館長)	<p>前回の社会教育委員会では、市内各所での得票数をお示しした上でロゴの選定について審議いただき、2つの案をご提案いただいた。しかしその結果を内部で協議したところ、市内各所での投票区分ごとの母数に差がある中で、得票数を比較するのではなく、本日の配付資料2内の平均得票率をもって審議していただくことで適切に市民の声を反映できるのではないかという結論に至り、再度審議していただき、決定していただきたい。なお、</p>

発言者	発言の要旨
資料館 (田中係長)	<p>前回会議でご指摘いただいた館のコンセプトについても担当よりご説明させていただきます。</p> <p>資料2に基づき博物館全体のコンセプト「あつまる つながる」について説明。</p>
齊藤議長	<p>議事進行 質疑応答</p>
岩館委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプトがあつてこそそのロゴデザインだと思うし、得票数はどの案も大きく割れているわけではないと見受けられるので参考にして決めるとするのは賛成である。</li> <li>・コンセプトについて、個人的には「あつまる」「つながる」の後にどういうことが生まれるのか、人々がどう動き出すのかというのが目指すところなのではないか。3要素目が入るとコンセプトとして締まるのではないか。</li> </ul>
石川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじみ野市に「博物館」ができるというのは衝撃だった。「ふじみ野市自慢」ができるような施設であってほしい。</li> <li>・ロゴデザインはこの先長く使われることを考えると、他所ではないようなデザインが良いのではないか。個人的にはそう考えると3・4番は他にもありそうに思える。1番はいろんな色合いのモノ・ヒトが集まり、前を向き、弾け大きくなるような印象で合うのではないかと感じた。</li> </ul>
齊藤議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプトについては、「あつまる つながる」までで止めるべきだと思う。博物館に来た人全員が同じ目的で利用する訳ではないので、方向性のようなものを入れてしまうとみんなが同じ方向に進まなければならないように思ってしまうので、「あつまる つながる」というコンセプトは良いのではないかと個人的には思う。</li> <li>・ロゴデザインについては1番の3つの丸が子ども・大人・高齢者があつまり、作り上げて行くというようにも捉えられるので、良いのではないかと思う。</li> </ul>
長谷川委員	<p>モノクロのデザインを見ると、4番は富士山、3番はふじみ野の市章が想像できた。このコンセプトに繋がるのは、1番か2番だと感じた。私は前回会議では2番を選んだが、資料を見ると、資料館に携わってこられた資料館運営協議会は1番を選んでいて深いなと感じた。2番も捨てがたいが、コンセプトやモノクロのデザインも見てみて、1番が合うのではないかと感じた。</p>
小澤委員	<p>2番だけ「ふじみ野市立博物館」の文字がロゴに合っていて良いと思っていましたが、文字はロゴが決まった後に決まるという説明があったので、文字が変わるとイメージが変わるのではないかと考えている。コンセプトを踏まえると、資料館運営協議会が1番を選んでいるのは納得できる。</p>

発言者	発言の要旨
岩館委員	昨日大井小で火工廠について伝える出前授業をした。実際の当時の現物資料を見てもらい、子どもたちの反応がとても良く、色々な感想が出た。そういった場でもそうだが、「あつまる つながる」のその先をこちらが画一的に決めるのは違うので、自由に感じ取ってもらいたい。博物館のコンセプトについても、3要素目は変数でも何か生まれるというのは良いなと思った。地域の歴史の中にある様々な資料に実際に触れて色々な気持ちを感じてほしい。コンセプトから1番もいいが、デザイン的には2番も捨てがたい。
山口委員	多数決で意見を集計したらどうか。
齊藤議長	では、議長を除く委員の多数決で意見を集計したいと思うがよろしいか。
各委員	異議無し  (結果) 1番 6人 2番 1人 3番 1人
齊藤議長	多数決の結果、1番で進めていただくということで委員・事務局ともによろしいか。
各委員	異議無し
事務局 (木村課長)	皆様のご意見として承る。
齊藤議長	その他事務局等より報告事項等があればお願いしたい。
資料館 (井上館長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料「博物館整備工事スケジュール」に基づき工事の進捗等について説明。</li> <li>・貸室については、令和8年6月から予約を開始する予定。</li> </ul>
資料館 (田中係長)	貸室の予約の詳細については、市報で周知し、公共施設予約システムを利用して予約が可能になる。
小澤委員	学校が使用したい場合は直接博物館への連絡で良いのか？
資料館 (田中係長)	その点については今後確認してお伝えさせていただく。
齊藤議長	工事スケジュールは順調に進んでいるのか。
資料館	建物の工事は順調にスケジュールよりも早めに進んでいるが、展示はあ

発言者	発言の要旨
(田中係長)	<p>まり余裕がない状況ではある。</p>
岩館委員	<p>オープニングに向けて何か仕込んだりすることはあるのか。</p>
資料館 (田中係長)	<p>市民文化祭の時期に合わせて一体的にやるのはどうかという意見もいただいている。今後検討していきたい。</p>
山口委員	<p>車を利用しない方や高齢者が使えるような博物館までの交通手段は何か検討されているのか。</p>
資料館 (田中係長)	<p>ふじみん号や、文京学院大学の前に東武バスが停車する。ご要望があれば意見をあげてほしい。</p>
小澤委員	<p>今までは上福岡歴史民俗資料館と大井郷土資料館がそれぞれあったが、今後は偏った場所になってしまうので、学校の場所によっては行くのが難しい。</p>
資料館 (田中係長)	<p>小学校中学年の「むかしのくらし」の学習では出来るだけ来館してほしいと考え、バスの予算は計上している。</p>
小澤委員	<p>大井小でも高学年の授業には社会教育課に出前講座をお願いしているケースがあるが、そうすると資料は限られてしまう。博物館に広く、多くの資料が展示されるのだと思うので、広い学年の児童が博物館で学びができるよう市でバスを用意してほしい。</p>
資料館 (田中係長)	<p>要望として承る。今後学校全体の学習の場として効率的に組み込んでいけるよう教育委員会内でも検討していく。</p>
石川委員	<p>開館が9月ということで、来年度予算で事業等の計画は進んでいるのか。</p>
資料館 (田中係長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点の事業計画方針について説明。</li> <li>・現時点の協力団体等の方針について説明。</li> </ul>
山口委員	<p>知識のボランティアだけでなく、施設周辺のお花の整備など、いろんな分野の方を巻き込めると良い。</p>
齊藤議長	<p>そういった活動は最初が肝心であると思う。最初から狭くせず、大きめに提案して広げていくのが良いのではないか。 その他進捗等での報告事項はあるか。</p>
資料館 (田中係長)	<p>現時点の運営方針（休館日や開館時間等）について説明。</p>
石川委員	<p>管理運営は職員が直営で行うのか。</p>

発言者	発言の要旨
資料館 (田中係長)	現時点では市の職員が直営で行う予定である。
長谷川委員	資料館の活動を支える会で活動していた方が自分の身近にもいるが、そういう活動をしていた方との今後の関わり方はどのように考えているのか。そういった方に継続して関わってもらえると良いのではないかと感じた。
資料館 (田中係長)	一体的に活動できたら嬉しい。ハード面の目処がついてきて、今後そういったソフト面を整備していく段階になってきたので、これからの新しい社会教育施設にどういった方が携わっていただけるのか検討していく。
岩館委員	以前もお伝えしたが、ひとつの通りに文化施設、図書館、博物館、大学がまとまっているという施設の集積効果を生かせないかと考えている。 それぞれの単館としてではなく、有機的につながり活かしたエリアになることを期待している。
石川委員	合併前にシビックゾーンなど、ゾーニングしていた時代もある。そういったものを復活してもいいのではないか。
山口委員	博物館内にカフェなどは入るのか。
資料館 (田中係長)	カフェ設置の予定はなく、自販機を設置する程度である。
長谷川委員	上福岡図書館がリニューアルする際に、以前入っていた福祉喫茶「歩歩」が撤退するという話を聞いて残念だったが、「歩歩」の運営側からの打診であったと聞いた。人材確保が難しいのではないか。そういったことも含め、積極的にやってみたいという人を増やしていくのも課題なのではないか。
山口委員	子連れなど、誰でも気軽に休憩できるようなベンチがあると良いのではないか。
長谷川委員	博物館も夏の暑い時期に避難する場所に指定されるのか。
資料館 (田中係長)	クーリングシェルターになると思われる。
事務局 (鍋島副課長)	進行 3 その他
山口委員	・専門委員会にて事例発表を行った人形劇サークル「あったかおひさま」、

発言者	発言の要旨
岩館委員	<p>その他「おはなしケムケム」、「ガチャガチャバンド」の活動について情報提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大井小での出前講座について情報提供。大学生が楽しみながら小学生に対し授業している姿がとても良かった。</li> <li>・これまで3年間、上福岡歴史民俗資料館と文京学院大学で「火工廠のまちあるき」をやってきた。その事業を担っていた大学生の卒業もあり、より発展した形で実施できないかと考えている。戦争のことを考える大事な資料がたくさんあり、小学生でも大学生でも授業で使うことができるだけでなく、地域の方も自分が住んでいる地域を知ることができる。こういった形でできるか、今後の専門委員会でも提案していきたいと考えている。</li> </ul>
事務局 (鍋島副課長)	進行
事務局 (木村課長)	社会教育委員の次期任期、継続についての依頼
事務局 (鍋島副課長)	閉会の挨拶